

会 議 録	
会 議 名	令和7年度第2回真庭市子ども・子育て会議
日 時	令和7年9月19日（金）19：00～20：30
場 所	真庭市役所 本庁舎 3階会議室
出 席 者	<出席委員> 12名 岩満委員、木田委員、谷口委員、庄司委員、中川委員、 長田委員、西田委員、行本委員、宮田委員、金定委員、 樋口委員、池田委員 <欠席委員> 3名 杉本委員、二若委員、田中委員 <事務局> 6名 健康福祉部 神庭次長兼こども家庭センター長 健康福祉部子育て支援課 渡辺課長 健康福祉部子育て支援課 広岡こどもはぐくみ担当課長 健康福祉部子育て支援課 曲係長 健康福祉部子育て支援課 二宗係長 健康福祉部子育て支援課 水島主任
傍 聴 者 数	<傍聴者> 3名
次 第	1 開 会 2 挨 拶 3 議 題 「真庭市子ども・子育て支援施設整備計画」について 4 そ の 他 5 閉 会

1 開 会

(事務局 広岡課長)

本日はご出席いただき、誠にありがとうございます。

委員 15 名中 12 名のご出席をいただいております。真庭市子ども・子育て会議条例第 5 条第 2 項に基づき、過半数に達しており、本会議は成立いたしますので、第 2 回 真庭市子ども・子育て会議を開催いたします。本日は、子どもたちの健やかな育ちを支える今後の施設整備において委員の皆様と意見交換ができるよう進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

2 挨 拶

(岩満会長)

こども家庭庁ができて以降、様々な政策の変更等ございます。また、少子化等の各地域の課題もあり、今後いろいろな子ども・子育て支援をどうしていくか大きな課題となっていくと思いますので、皆様方も是非意見をいただきながら進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

3. 議 題

「真庭市子ども・子育て支援施設整備計画」について ～ (事務局 渡辺係長) 資料説明【資料 1・2・3】～

(岩満会長)

何かご質問・ご意見がありましたら、お願いします。

(木田委員)

13 ページの「第 1 課題及び二ーズ」の課題②の「在園児が 10 人以下の施設や 200 人近い施設があり、集団の育ちの面からも望ましい規模の施設を検討する必要がある」と示されていますが、望ましい規模の施設とはどのようなものか、わかるように教えていただけたらと思います。

(事務局・渡辺課長)

例えば 10 人以下ですと、あまりにも少人数ということや、200 人に近いような人数ですと狭いといったこともあるので、今後の人口の推移を見ながら、小さいところは例えば統合するなど、いろいろなことを考えながらということになります。

(木田委員)

国から適正な規模などは示されていますか。

（事務局・渡辺課長）

示されていません。

（岩満会長）

ありがとうございました。そのほかいかがでしょうか。

（金定委員）

10年後、20年後に何を目指していますか。改修なのか統合なのか。

（事務局・渡辺課長）

適正な規模での運営を目指しています。そのため、あまりにも少ないところは統合とか、あるいは多いところは改修するなど、財政のことも考慮しながら、地域の方のいろいろな意見を聞きながら、どこが一番最適なのかを探していけたらと思います。

（金定委員）

今後、この会で繰り返し検討していくのか、地域に話をしに行くのか、どのように進めていく予定ですか。

（事務局・渡辺課長）

この会議では、ある一定の方向性を皆さんにご審議いただきたいと思います。その結果を持ってすぐにではないですが、地域の方や保護者の声を聞きながら進めていきたいと思っています。

（金定委員）

保育園に関しては特に地域の説明が難しいと思います。月田で言えば、出ていく人がいるのは、やはり少ないからなどの理由。勝山や久世に出ていかれて、多分、勝山が多くなってるのは月田から出て行っていることも大きいと思います。県外から来ている人が増えたわけではなく、田舎から出ていることが多いと思う。地域の方に説明に行かれるということで理解しました。

（岩満会長）

その他、ご意見、ご質問などございますでしょうか。

（谷口委員）

こども園などは避難所としての役割はないでしょうか。

（事務局・渡辺課長）

避難所になっているところは少なかったと思います。その点も考えながら今後進めていきたいと思います。

（岩満会長）

その他、いかがでしょうか。

（西田委員）

12 ページのつどいの広場の状況で開所日について検討はしていただけるのでしょうか。近所でこどもを土日に連れていくところがなく、湯原からサポートあいさんまで遊びに行っていますが、結構距離があるので土日に室内で遊べるところが近くあると親としては助かるという意見を結構聞くので検討していただけるのか、教えてほしいです。

（事務局・渡辺課長）

土日開催の件ですが、即答はできませんが検討させていただきたいと思います。その結果、ご希望に添えない場合もあると思いますがご了承いただければと思います。

（岩満会長）

その他、いかがでしょうか。

（木田委員）

44 ページ、「長寿命化の方針」について、大規模な修繕と長寿命化修繕・改修とは具体的にはどのようなことをするのか教えてください。

（事務局・曲係長）

大規模改修と修繕について、改修は主に躯体工事で、修繕は壁や棚などの修繕になります。躯体なのか建物についている壁などであるかという区分けになっております。

（岩満会長）

その他、いかがでしょうか。

（金定委員）

久世第二こども園（仮称）について、入札が終わり、これから着工の段階だと思いますが、完成までのステップとしてどれくらいの年数がかかっていますか。

基本的にどこの園も古く改修ができる前に壊しているものもあると思います。今後、新築もあると思いますが、そこに至るまでの年数を教えてください。

(事務局・渡辺課長)

一般的には、改修が決定した年度に、設計に必要な金額を翌年度の予算に組んで設計をします。その次の年度で改修工事となりますので通常３年以上かかります。

(樋口委員)

最短期間が今事務局が説明したとおりです。

１つの例として、久世第二こども園（仮称）は実際に話が出始めて設計が始まるまで３年近くかかっています。

こども園はほぼ年中無休の施設になります。そのため、園を休んで建て替えることができません。広い敷地であれば同一敷地内に建てることも可能ですが、基本的には別の場所を探して建てるのが前提になるので、場所をどうするかが非常に大きな課題になります。場所や定員も含めての調整、久世保育園や久世第二保育園との兼ね合いも含めて、最終的に建設しようという所までに、久世第二こども園（仮称）では３年近くの年数を要しています。

(金定委員)

わかりました。

(岩満会長)

他になれば次に移ります。

「真庭市子ども・子育て支援施設整備計画」について ～（事務局 渡辺課長） 資料説明【資料４・５・６】～

(岩満会長)

説明いただいたことについて、ご意見やご質問などございましたら、よろしくお願いいたしますします。

(行本委員)

69 ページのつどいの広場で継続する施設にくせ活き生きサロンがありますが、北町公園内の他の建物は取り壊していますが、継続でしょうか。

(事務局・渡辺課長)

今のところ継続の予定です。

(行本委員)

前回の会議の際に、久世第二こども園（仮称）ができる時に、その中に新しくできるかもしれないというお話があったと思います。新しい園にそういう施設ができたとしても、その園に通園していない人は行きづらいのではないかと懸念があります。

星のこども園がしている施設がありますが、星のこども園に通園している保護者は知っていると思いますが、それ以外の方は一般開放されてることを知らないと思います。行っていいのかもわからず、入口もわからないと聞くことがあります。

（事務局・渡辺課長）

今の予定では久世第二こども園（仮称）の場所に作る予定はあります。今の落合こども園がそういった形態でやっており、PR すれば皆さんには周知できると思っております。

（庄司委員）

実際に落合こども園の同じ敷地内で「サポートあい」を運営しています。玄関は別です。NPO なので、どなたでもということにしているため、久世や津山などいろいろな所から来られます。星のこども園のふわりんにも行っていると言います。いろいろなところからお母さん方は情報を収集をされていると思います。

（行本委員）

自分で情報を探して、調べて、辿りつくことはあると思います。

（庄司委員）

保健師さんなどが案内してくださったり、連れて来てくださるケースもあります。

（中川委員）

私は子どもが家の近所にたくさんいた地域の岡山から引っ越して来て、今は木山ですが周りにこどもが全くいない状況でした。どこに行けばいいのか、こどもをどうやって遊ばそうか、公園もない、どうすればいいのかと思っていたところ、保健師さんからの情報でほたるっこさんやサポートあいさんなどにも行けました。友達がなくて、保健師さんも心配して色々情報をくださったと思います。

（事務局・神庭次長兼こども家庭センター長）

こども家庭センターでは、妊娠届を提出いただいた時点で先の見通しをある程度お伝えをして、今の悩みやこれから出てくる悩みとか心配にずっと寄り添って相談に回る伴走型の支援をしています。その中で、タイミングに合ったご案内をしていて、子育て広場の情報やタイミングや年齢ごとで使えるサービスについて紹介したチラシもお渡しした上で、情報提供しています。乳幼児検診等で聞く悩み事の中からその方にあったサービスをご紹介しますような支援をしています

(岩満会長)

ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。

(長田委員)

68 ページを見ると 0 歳児は 23 人。トータルで 200 人超えるとある程度大きな施設が必要だし、それぞれの地域に施設も必要かと考えれる。今後こどもが増える予定があるのかというところ。施設の整備計画をハード面に限ってみた場合に、定員数と実際の子ども数も踏まえ、設備の大きさや先生の配置を考えないと厳しいと思う。限界集落のことや、地域に人がいなくなり行政規模を小さくせざるを得なくなるような、そういう姿を描いて整備計画を立てるのであれば、この基礎づけをどのように考えるか。

(事務局・渡辺課長)

0 歳での入園は 23 人で少ないです。6 か月以上から受け入れることができますが、全ての園で 6 か月以上ではなく、決まった園のみ 6 か月以上からで、保育園は満 1 歳になってからというルールもあります。これは全ての出生数の数値ではないです。

(長田委員)

こどもはいるが入園していないということですね。

(事務局・渡辺課長)

68 ページの表は、今年の 5 月時点での各園の入園状況です。資料の 60 ページ、資料 5「0 から 5 歳の人口」上段の表が出生数になります。下段の表が入園者数となります。それで見ると、0 歳児は今年度 169 人おりますが、入園しているのは 15 人という見方になります。

(宮田委員)

69 ページの幼児教育・保育施設の「在り方を検討する施設」のところに、地域や関係者の意見も踏まえるような記載がありますが、具体的にどのように意見を募集するのですか。

(事務局・渡辺課長)

手法についてまだ具体的に設定していませんが、今のところは、インターネットを通じて意見を聞くことができる機能があるので、そういったものを使って利用している保護者に意向を聞いたり、自治会長に意見を聞くのがいいのかなと考えております。

(宮田委員)

今の利用者さんの意見を聞くのも大切だと思いますが、3年後、5年後の話にもなるので、これから子育て世代になる方の意見も聞いてもらえたらと思いました。

（事務局・渡辺課長）

ありがとうございます。参考にさせていただきたいと思います。

（岩満会長）

その他、いかがでしょうか。

（池田委員）

園の現場からですが、老朽化が進んでいる園があります。こどもたちを保育していく上では、安心、安全な環境のもとで健やかなこどもたちの成長を支えていくというところは最低限大切なところだと思います。修繕が多かったり、今は不審者対応、感染対策等、施設が古くなってくると現場の職員はすごく配慮しながら保育を進めています。こどもたちが毎日通う園は、安全性、衛生面について、老朽化はなんとか早急に対応していただきたいと思っています。

（事務局・渡辺課長）

計画的に安全性を高めて環境を整えたいと思います。

（長田委員）

施設の大きさと費用対効果でかける投資金額で考えた時に、将来的に0歳児の総人口と5年の間で見ればなんとか維持できるのか、極端にいなくなるのか、将来的にこの地区は団地ができて若い人が増えていくんだという期待が持てるのか。例えば、閉園予定としてもその地域はこどもさんが将来増えるとなるとやめることはないし、閉鎖することもない。将来の予測はおられる人の数字と存続か、他とまとめれるのか。地域特性もある。例えば月田と富原を勝山にと簡単に言うが、勝山までは遠いし、せめて富原でとめないと。そういうところまで考えないといけない。施設整備となれば、地域の人口構成を踏まえないと判断のしようがない。

（事務局・渡辺課長）

人口の予測ですが、今の時点では皆さんに示すことはできません。ただ、業者の力も借りて正しい数字を次回の会議ではお示ししたいと思っています。

（樋口委員）

生まれたこども全員がこども園に行くわけではないです。保護者の希望で、北房のこどもだけ通勤上の都合で高梁の園に行ってる、美川だけ落合こども園に行っているご

家庭もあります。働き方改革、共働きが増えてくる中で、3才未満のこどもをこども園や保育園に預けて仕事を続けるというニーズが増えていきます。国の基準で、0歳なら先生1人に対してこども3人、1歳、2歳であれば、先生1人で6人しか見られないという基準があり、こどもの人数が増えればそれだけ先生が必要になってきます。

また、この広い真庭の中で少ないとはいえこどもは生まれています。公の責任として、最低限の人数でも施設を守っていくのが行政の役割だと思っています。候補として名前を挙げていますが、そこは機械的に判断するのではなく、こどもの数や地域の声も考えた上で計画を作っていかなければならないと思っています。

ただ、人口減少、少子高齢化も進む中で、真庭市が継続的に行政運営できていくのか。どのレベルで行けるのかを冷静に考えて、施設整備も長期的に考えていかなければなりません。今回策定する計画期間は5年です。この5年間だけで判断できるものではなく、もう少し先を見ながら考えていくことが私たちの仕事だと思っています。この会議でいろいろなご意見をいただきながら、地域のご意見や実際の当事者の皆さん、この先に子育て世代になる方々の意見も聞きながら考えていく必要があると思っています。その点もご理解をいただいて、今後ともご協議をいただければと思います。

（岩満会長）

ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。順番にいかがでしょうか。

（谷口委員）

美甘こども園が小学校と一緒にになりましたが、人数は5人しかいない。69ページ、建替・統合新施設に、川上こども園と八束こども園を統合と出てますが、ここは結構人数がいます。中和も、全体的にこどもが少ないですが11人。方向性、在り方について地域の関係者や意見もよく踏まえてということなんで、その辺はよく聞いて方向性を示していただけたらと思います。

（庄司委員）

今、0歳児、1歳児さんを家で看られている方がとても減ってきています。1歳になったら、園に行くものという感じです。自分で看たいと思うお母さん、お父さんも私は増えてほしいと思います。

（中川委員）

徳島での子育て経験がありますが、比較して真庭の状況は大変です。徳島ではひとり親世帯で、日曜日も仕事をしないといけなかった状況でしたが、日曜日も開園してる保育園があったり、病児保育はひとり親の方を優先的に入れたりひとり親支援も充実していた。真庭はそうではないと思います。ほかには、高校生年代も行くところがない。コンビニぐらいで、それでいいのかというご意見を聞きます。真庭には高校の工業科とかもなく

「高校がない」という話もたくさん聞きます。今子育てしているお母さんたちを支えていくという面で、どうやってサポートしてあげればいいのかと考えます。子育て支援を手厚くしてもらえたらと思います。

（長田委員）

69ページ、継続する施設に、美甘こども園がある。この園は在り方を検討する施設に長くあったと思います。美甘こども園を小学校に入れることで継続になったわけですが、これを実現するために地域の人があるゆる組織を動かし、本当に苦労して活動され、ようやくここに아가って来たという話を聞いております。地域の力、残してくれという、美甘では相当なパワーがあったように思います。米来こども園も学校に入れてもらいたいですが、小学校をどうするのかという大きな問題があります。小学校が統合する方が早いかもしれません。こういう方向性も考えこども園も動いていかないといけないと感じております。

（西田委員）

地域や関係者の意見も踏まえ、幅広く意見を聞いて参考にさせていただきたいと思います。あと、土日に遊べるところが近くに欲しいです。久世、落合がいいのかもしれませんが、蒜山、湯原とか北部のエリア、少ないところも考えていただきたいです。夏休みに各地域を回った遊び場の情報をシェアしてもらい、湯原会場に行った時に同級生に会いました。私も親同士で話せて。こどもが元気なのが1番なんですけど、お母さんも元気じゃないといけないので、土日、祝日に空いていてこどもも遊べて、親も喋ってリフレッシュできる場を検討をしていただけたらと思います。

（行本委員）

「こどもまんなかまにわ」のロゴがマークとなっている「こどもあ」のインスタをフォローしてます。ここに行ったよという紹介もいいですが、真庭市内でのイベント告知があると行きやすいと思います。フォローしてるのに、後からあった情報を知るのがとても残念だと思います。ほかに市内のつどいの広場の紹介とかあればと思います。

（宮田委員）

高校生の時に同級生と話しをしていた時、真庭で子育てをするかという話になり、津山など大きいところになりたいという話になりました。これからの子育て世代に真庭でも子育てできると伝わるものがあればいいと思いました。

（金定委員）

真庭は広いのが1つネックになってると思います。だからどうしていくのかがすごく難しく、特に保育園、こども園はいろいろな意味で難しい。100%のいい答えは出ない

かもしれないですけど、できるだけみんなに寄り添う形で今後も進めていってもらえたらと思います。月田では小学校と保育園の合同保護者会議を今年度すでに3回開いて、来月4回目を開きます。そこで色々話も出ているので、よかったら来ていただけたらと思います。これからほかの地域も動いていかれると思います。いろいろなところの情報を拾っていただけたらと思います。保護者も色々考えておりますので是非いろいろな声を聞いてもらえたらと思います。

(池田委員)

先ほどお話があった、1歳になると家庭で見ている方が少ないということ。現状、園に入られてる方が多く、湯原に勤めていますが、もう1歳児で同じ学年が揃っていてそのまま5歳児まで過ごされるということは多いです。そこでお母さん方が孤立しないように、保護者の方などを支えていく場所であったりそういうところも園の役割として大事に見ていかないといけないと思っています。地域のつどいの広場で何かできたらとか地域との繋がりを大切に、色々な世代の方が来て共にこどもたちを育ててくれる場所であってほしいと思っています。少子化は課題ですが、プラスの面として捉えられたらいいと思っています。

(岩満会長)

ありがとうございました。皆様よりいろいろなご意見をいただきました。59ページにスケジュールを示していただいています。今回の皆様からのご意見を基にこれから計画案の作成を進めていただけるとしますので、その案を次回ご議論いただけたらと思います。

4 そ の 他

(木田委員)

今年の夏は本当に暑くて、こどもが十分な運動量を確保できる場所がなく、外に出て公園で鉄棒を持ったら手が火傷してしまうようなことが、全国的にニュースに出ており、真庭市も同じような状況だったと思います。

私も休み中に学区を回りましたが、こどもが外で遊ぶ姿を見ない状況の中で、新たな施設を作ることは難しいと思うので、今ある空調が効く施設を開放していただいて運動ができるような、例えば、白梅体育館などを開放するなど新たな取り組みなども一緒にこの会で考えていけたらと思っています。

5 閉 会

(事務局・広岡課長)

本日は、皆さん、長時間にわたりましてご意見いただき、誠にありがとうございました。皆様から本日いただきましたご意見を参考にしながら、今後計画案の作成を進めていき

たいと思っております。長期的な視点で施設の整備のあり方を考えていきたらと思っておりますので、今後とも引き続きご協力をいただけたらと思います。

それでは、以上を持ちまして本日の会議を終了いたします。